

今日から
減らす!

事例で
学ぶ

調剤エラー 防止策

薬剤師・産業カウンセラー

荒井なおみ

この本をお手に取ってくださった方々へ

この本は『調剤エラー対策』をテーマとして、私が見たり聞いたりやったり(!)した事例をご紹介します。事例を振り返りながら(つまり反省しながら)、本当に大切なことは多くはないのだなと感じています。一言で表せば、決められたことを決められた通りに行う、ということでしょうか。

例えば、薬剤師として調剤業務を行うには、冷静であることが求められます。なぜなら業務の中心は「確認すること」だからです。一にも二にも確認すること。確認するには、落ち着いて冷静な判断をしなければなりません。しかしながら、私の心はいとも簡単に冷静さを失ってしまうのです。焦ったり、気が散ったり、あることに気を取られて他のことが疎かになってしまったり。

自分自身は冷静だと思っけていても、実に傲慢な冷静さであったりもします。「いつも通りね」「簡単な処方だからさっさと済ませよう」「またこの組み合わせ」などなど。なんと謙遜さのないことでしょう。そしてこの場合、多くのところ本当は冷静さを失っているのです。

ではどうしたらよいのでしょうか。それは、基本を丁寧に行うことだと思います。手順通りに、ルールに則って、曖昧なら確認する、患者さんとの会話を大切に。決められたことを丁寧に誠実に行うことが調剤エラーを防ぐことに繋がります。この本が、皆さまのお仕事のヒントになれば幸いです。

2021年9月

荒井なおみ

09 分包紙の情報間違い

- ① 他の人の名前を印字してしまった！ 160
- ② 異なる名称を印字してしまった！ 164

10 薬袋の記載間違い

- ① 薬袋：入れ間違えると、飲み間違える！ 168
- ② 目盛りの印を間違えた！ 172
- ③ 入力間違いから薬袋誤記へ 176
- ④ 手書きの指示を間違えた！ 180
- ⑤ 抗癌剤の服用開始日を間違えた！ 184

11 充填間違い

- ① 充填間違いは、多くの患者さんに影響する 188
- ② 軟膏とクリームは間違いやすい！ 192
- ③ ケースへの戻し間違いでエラー発生！ 196

12 異物混入

- ① まさか、こんな異物が入っていたとは！ 200
- ② 他の薬の間に挟まっていた！ 204

13 期限切れ

- ① 調剤薬の半分は期限が切れていた！ 208
- ② シップ薬の期限が切れていた！ 212

14 患者間違い

- ① その人は、別の人かもしれません！ 216

- ② 名前が似ていても、他人です！ 220
- ③ 他の患者さんの領収書でお会計 224

15 説明間違い

- ① 説明不足も調剤エラーの1つです！ 228
- ② モニタリング不足も調剤エラーの1つです！ 232
- ③ **コラム⑥** 健康食品を確認しよう！ 236
- ③ 車の運転禁止を伝えていますか 240
- ④ コンビニエンスストアの事例から学ぶ 244
- ⑤ 普通錠とOD錠は同じだけど違う！ 248
- ⑥ 冷所保存ではなかった！ 252
- ⑥ **コラム⑦** 街中リスニングで患者さん思考をGET！ 256

16 交付忘れ

- ① 冷所保存の薬を渡し忘れた！ 260
- ② 保冷庫に2つも残置薬があった！ 264
- ③ 服薬カレンダーへのセット間違い 268
- ④ 56日分なのに28日分しか渡さなかった！ 272

17 環境整備

- ① 働きやすい環境① 見えやすいこと 276
- ② 働きやすい環境② 整理整頓しよう！ 280
- ③ 人間関係で過誤を防ごう！ 284

1

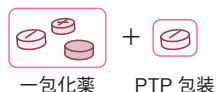
ODPをがんばったら PTPを忘れた！

日本医療機能評価機構の薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業第22回集計報告(2019年7月～12月)によると、調剤に関する項目(調剤・管理・交付)16,411件のうち「調剤忘れ」は488件(3.0%)。頻度としては高くありませんが、患者さんにとっては必要な薬を受け取れないという大きな問題です。

1 事例紹介【一包化薬(ODP)と一緒にお渡しする PTPの分を忘れた】

88歳の男性患者さんです。ご家族が処方箋を持って来られました。内科から循環器系の薬が数種類処方され、定時薬として一包化調剤をしています。さらに下剤として下記の薬が出ています。

Rp. マグラックス®錠500mg 2錠 1日1回 就寝前 30日分
(1錠は一包化。もう1錠は調節のためPTP。)



ご高齢のため、服薬間違いの防止を理由として一包化しています。ただし、マグラックス®錠に関しては、1回2錠の処方のうち、1錠は定時薬として一包化し、もう1錠は調節しながら服用するためPTP包装にてお渡しします。

この患者さんの場合、一包化の薬はすべて自動錠剤分包機内にセットしてある薬を使います。そのため、PTP包装でお渡しするマグラック

ス®錠500mg 30錠を患者さんのトレイに入れておけば良いのです。通常は、一包化を行う前にPTP包装を調剤しておくのですが、このときはマグラックス®錠の棚の辺りが人で混雑しており、後にしようと思ったのが運の尽きでした。一包化薬が出来上がる頃には、PTP包装のことをすっかり忘れていました。

連休明けで薬局が混雑していたため鑑査者も焦ってしまい、PTP包装でお渡しするマグラックス®500mg錠のことを見落としてしまいました。薬はご家族にお渡ししましたが、いつも通りの一包化薬であることを説明し、薬をお見せして終了しました。数日後、ご家族からPTP包装のマグラックス®500mg錠がなかったとの連絡をいただき、調剤忘れがあったことがわかりました。

2 エラーの原因を探してみよう！

薬局にはPTP包装などの調剤忘れを防ぐために、一包化薬を作る前にPTP包装などを準備しておくというルールがありました。なぜかと言えば、一包化薬は包装されていないため鑑査に時間がかかります。また、分包機内で錠剤が飛んで他の袋に入ったり、機械の中に落ちたりすることがあるので、錠数のチェックも重要です。一包化薬はPTP包装の薬を鑑査するより何倍も、何十倍も神経を使い、時間を使います。作り終わるとホッとして、PTP包装や冷所品、パップ剤と一緒に処方されていても忘れてしまいがちだからです。やはり先に調剤しておくに越したことはありません。

原因①：マグラックス®錠の辺りが混んでいたため、遠慮してしまった。

原因②：PTP包装をルール通り先に調剤しなかった。

原因③：後でPTP包装分のマグラックス®500mg錠を調剤することをすっかり忘れていた。

もし調剤する際にPTP包装を見落としとしても、最終鑑査で調剤忘れに気が付けばよかったのですが、ここでも見落としが起きています。連休明けで薬局が混雑しており、誰もが焦りを感じ、とにかく早く出すことに注意が向いてしまいました。

原因④：処方箋の記載内容をよく読んでいなかった。

原因⑤：服薬指導時に、マグラックス®錠の服用に関するモニタリングをしていなかった。

3 今日から始めるエラー防止対策

定時薬ではない薬の「調剤忘れ」を起こさないためにはどうしたらよいでしょう。

①後にしない。今やる。

→日常生活でも「後でやろう」と思っていたのにその頃にはすっかり忘れていた、ということはないでしょうか。今やれば、後で忘れることはありません。

→どうしても後回しになってしまった場合は、薬が揃っていることを調剤者が自己鑑査したのち鑑査者に渡しましょう。

②調整分の薬はモニタリングする。

→患者さんもメインではない薬について認識が十分ではないかもしれません。どのように使っているかをモニタリングすることで調剤忘れに気が付くでしょう。

POINT

〈マグラックス®錠の保管方法〉

自動錠剤分包機にセットしても問題はありませんが、長期間とまらないようにし、薬局内の温度・湿度に注意しましょう。室温30度、湿度75%という過酷な状況は、クーラーを使う勤務中には起こらないと思いますが、夏の夜間、休日は気を付ける必要があります。また、患者さんへ一包装としてお渡しする場合、高温多湿を避け保管するよう伝えましょう。

マグラックス®錠の一包装について

(添付文書)本剤は湿気に影響されるので、開封後はできるだけ速やかにご使用ください。また、開封後は湿気を避けて保管してください。

(吉田製薬HP)遮光・開放状態で30°C、75%RHで3か月間保管した結果、(略)無包装状態で保存しても問題ないことが確認されています。しかし、湿度の高いところで長期間保管することは避けたい必要があります。

◎PTP：Press Through Packageのこと。錠剤やカプセルをアルミ箔シートとプラスチックで包装します。プラスチックの部分を押しと1個ずつ取り出すことができます。

【著者プロフィール】

荒井なおみ

1984年北里大学薬学部卒業後、病院薬剤師、薬局薬剤師として働き、調剤経験は約15年(長期間ブランクあり)。現在は産業カウンセラーをしながら週1回薬局薬剤師として働く。

今日から減らす！事例で学ぶ調剤エラー防止策

2021年9月25日 第1刷発行

著者 荒井なおみ

発行 株式会社 薬事日報社

〒101-8648 東京都千代田区神田和泉町1番地

電話 03-3862-2141 (代表)

URL <http://www.yakuji.co.jp/>

オンラインショップ <http://yakuji-shop.jp/>

デザイン・制作 クニメディア株式会社

©2021 荒井なおみ Printed in Japan. ISBN978-4-8408-1565-9

落丁・乱丁本は送料小社負担にてお取替えいたします。
本書の複製権は株式会社薬事日報社が保有します。